

団体名	赤穂緞通 弥生工房	活動名	赤穂緞通 つなぐ・つなげる伝統技術
-----	-----------	-----	----------------------

1 活動の実施内容

① 実施場所（地域） 坂越 くつろぎの縁側 優・優	② 実施期間 自 令和5年 11月17日 至 令和5年 11月26日
③ 実施体制 ・団体構成員 32名 ・一般参加者 名 ・ボランティア 14名 ・市内 635名 ・県内 177名 ・県外 97名 計 955名	
④ 活動実績（実行委員会や準備作業の活動実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） 5月会場下見、実行委員会開催 6月会場部屋割り当て DM写真下取り 7月展示用作品準備 8月ポスター写真撮影 丹波へ 9月販促物（DM・ポスター）制作 会場下見 10月販促物納品、販促物配布、プレスリリース、広報活動等 11月展示会実施 12月礼状発送	

2 活動実施の成果と今後の課題

① 活動実施の成果

地区 140 年前の歴史ある建造物の古民家での展示には訪れた人が、一応に驚き何ともいいがたい雰囲気圧倒されていました。そこでの赤穂緞通の展示はまさにピッタリでした。15 畳の広い部屋や 6 畳等それぞれの個性が生かされ、思い思いのあしらいができました。

2 間床には、お生花・掛け軸・香箱等で格調高く、各部屋に沢山のお花で飾り、洋間は明るく硝子越しに見える生島や海の色の変化は、訪れた人をゆっくりと時の流れを楽しませていました。

1 畳の新作を阪上・廣津・根来と飾り、RIKA・MARI は額装等で新作を見て頂きました。

体験用のミニ織機で大人も子供も好きな色糸を選び、ペルシャ結びで、赤穂緞通の作業をしてくださいました。新緞通と古緞通に触れて、手触りや踏む感触等も知ってもらえる機会が作れたことは、とても良かったと感じています。

赤穂歴史博物館での特別展を見てから、坂越の展示会へ。展示会から特別展へと行かれる方が多く、赤穂緞通三昧をして頂くことが、可能になり私たちも是非、歴博へ行かれることを勧めることができました。

前日の 11/16 日は弥生工房に取材に来てくれた、NHK のええトコの放送日だったので沢山の知らない人が、見たでえと云ってくれ、良い宣伝になってくれました。

期間中に 1 回来てくれた方が、良かったから友達を誘って 2, 3 回と来てくれました。

SMS の発信で県内、県外からも来てくれて、体験がしたいと来てくれています。

② 今後の課題

赤穂緞通の素晴らしさは、多くの人に知ってもらえましたが、金額が高いので売ることができず、やっぱり財布の紐が固いなあと感じます。しかし、これから緞通を継承する人が食べていくには、値段は譲れないです。座布団の大きさがあれば良かったかなと感じました。販売方法を考える。

講演時にマイクの入りが悪く、テストしておくべきだと反省しています。せっかくのいいお話が聞こえなくて、申し訳なかったです。

3 実施活動の写真



写真貼付

写真のコメント

11/17 13:30 特別講演

「鍋島・堺・知るほど楽し

木綿の敷物」

講師 宮原 香苗氏

講演に 50 人出席



写真貼付

写真のコメント

ミニ織機で赤穂緞通を

ペルシャ結びを体験して

貰いました。



写真貼付

写真のコメント

綿の種を頂いた大阪市

八尾からの来場

宍粟市から赤穂コットン

を藍染して頂いている

2人が染と織りの談義中

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
 (ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)